



### 森林レンジャーがゆく (128) 「ヒガンバナ」とイノシシ

この季節、目にする花として「ヒガンバナ」があります。原産地は中国とされ、古い時代に日本に渡来した帰化植物とされています。どのくらい古いかというと、ヒガンバナの別名である「曼殊沙華」は、音の由来が古代インドのサンスクリット語(梵字)とされており、日本に仏教が伝来したころに持ち込まれたと思われます。

この花は俗名が多く「死に人花」や「幽霊花」など、人の死に関係した名前が各地に見られます。理由として考えられるのは、ヒガンバナの持つ有毒成分であるアルカロイドの1種のリコリンに、野生動物に対する忌避効果があり、土葬を行っていた時代においては、動物による墓地の掘り起しを止める効果があったと考えられたため「仏教」「埋葬」「墓地」などのキーワードが出てきます。

また、水田の畔などでもヒガンバナが咲いている風景をよく目にします。農家の方から、ヒガンバナを畔に植えると、水田の水漏れ原因の1つであるモグラを寄せ付けない効果があると聞きました。

樹木苗の植栽地でイノシシの掘り起しやシカの食害に頭を痛めていた場所に、ヒガンバナを植えてみました。さて、どれほどの効果があったかというと、これまでヒガンバナの近くまで掘り起しをしていたイノシシも、1~2ヶ月前でびたっとやめました。嗅覚に秀でたイノシシが、ヒガンバナの有毒成分の匂いを感じて、危険を回避するため掘り起しをやめたのだと思われます。植栽地を取り囲むように植えてみると、侵入もしなくなり、効果があったと考えられます。

シカについても、8月に伸びてきたヒガンバナの花茎が1~2株ほど食害にあいましたが1度だけで、それ以降はありませんでした。イノシシとは違い植栽区画内への侵入を止めることはできませんでしたが、区画内で採食することもなく、通過するだけになりました。ただし、アナグマは、リコリンに無頓着で、掘り出された球根に歯形が残っていたりします。

ヒガンバナと同じ仲間の植物に「スイセン」があります。ニラと間違えて誤食してしまった食中毒事故が、よくニュースになります。スイセンも、リコリンを主体とする有毒物質を含んでいるため、同様の効果が見られます。

ヒガンバナの花期は9~10月で、開花終了後に出葉し、冬季に光合成をして栄養成長を行い、5月には地上部の葉はなくなります。一方、スイセンは12月に葉を出して1~3月が開花期になり、葉は5月いっぱい枯れてなくなります。どちらも盛夏には葉がなくなります。しかし、球根が地中にあるだけでイノシシの掘り起しは回避できます。このことからイノシシの畑地への侵入を抑えることも可能かと考えます。

(杉野)



ヒガンバナ

市では、地域の魅力発信や観光PRなどを行うことを目的として、市内での映画やテレビの撮影を誘致、支援しています。その中で、撮影スタッフなどが食べるロケ弁当について、撮影現場までの配達や数十食以上の注文などに対応可能な販売店を募集しています。

#### ▽募集条件

- 市内の販売店であること
- 1回30~100個程度のロケ弁当の販売が可能であること
- 撮影現場までロケ弁当の配達が可能であること



### ロケ弁当販売店を募集しています

※撮影現場は市内に限ります。

▽申込み方法 登録を希望する販売店は、「お弁当店登録用紙」に必要事項を記入し、店舗とお弁当の写真を添付し、メールで応募してください。

※「お弁当店登録用紙」は、あきる野フィルムコミッションホームページからダウンロードできます。

▽その他

- 登録した販売店は、あきる野フィルムコミッションホームページで紹介されます。
- ロケ弁当の注文は、撮影スタッフが直接連絡します。

▽申込み・問合せ 観光まちづくり推進課(☒akiruno.film.com@gmail.com)

あきる野フィルム  
コミッション  
ホームページ



写真右から

- 王 亨 喧さん(台湾在住)
- 尾形愛さん(東京都国分寺市在住)
- 岩城薫乃さん(愛知県長久手市在住)

### アーティスト・イン・レジデンス事業

3人の若手版画家がアートスタジオ五日市に滞在し、11月30日(木)まで、版画の創作活動を行っています。

- ▽受付時間 平日午前9時~午後5時
- ▽対象 市内在住の65歳以上の方
- ▽担当課 高齢者支援課高齢者支援係



### 高齢者げんき応援事業

例年、地域の方々の文化交流なども行われていたが、生涯学習推進課生涯学習係

- ▽開戸センター (0550-2755)
- ▽萩野センター (0550-2722)
- ▽五日市センター (0533-0330)

- み順
- 持ち物: 筆記用具
- 費用: 月2千円(教材費など)
- ▽開戸センター (0550-2755)

- 定員: 4人(申込み順)
- 費用: 1回500円
- ▽五日市センター (0553-0330)
- ▽スマホ教室(入門編) 基本的なスマホの使い方、注意事項などを教えます。
- 日時: 10月10日(火) 午後2時~3時30分
- 講師: あきる野台病院システムエンジニア
- 定員: 5人(申込み順)
- 費用: 無料
- ▽ノルディックウォーキング

- 期日: 10月~令和6年3月
- 水曜・木曜日(月2回)
- 場所・時間
- 五日市センター: 第1・第3水曜日 午前10時~11時30分
- 開戸センター: 第2・第4水曜日 午前10時30分~11時30分
- 萩野センター: 第2・第4木曜日 午前10時~11時30分(祝日除く)
- 講師: センター職員
- 定員: 各センター15人(申込み順)

- ▽脳トレ教室 「読み書き」「計算」「脳ドリル」を使って脳の活性化と若返りを図ります。
- 期日: 10月11日(水)・20日(金) 11月8日(水)・15日(水)(全4回) 午後1時30分~3時
- 講師: 松本直美さん
- 定員: 10人(申込み順)
- 持ち物: 裁縫道具、着物
- 費用: 初回一括2千円
- ▽萩野センター (0550-2722)
- ▽麻雀入門教室 分かりやすく教えます。
- 日時: 毎週金曜日(祝日を除く) 午前10時~正午
- 講師: ボランティア講師
- 定員: 10人(申込み順)

- 定員: 4人(申込み順)
- 費用: 1回500円(貸ボール初回無料、2回目以降300円)
- ▽いきいきセンター
- 「介護予防教室」参加者募集
- 日時: 10月4日・11日・18日
- 楽しい脳トレや音楽などにあわせて身体を動かすことで、危険回避力や柔軟性を高め、介護予防をします。
- ▽日時: 10月4日・11日・18日
- 日: 25日、11月1日の水曜日(全5回) 午前10時30分~11時30分
- ▽場所 いきいきセンター集会室
- ▽講師 岸由紀子さん(JCC A・B級講師・アドバンストトレーナー)
- ▽対象 60歳以上の方
- ▽定員 20人(申込み順)
- ▽持ち物 飲み物、タオル
- ▽費用 無料
- ▽その他 グループ参加可
- ▽申込み方法 電話で申し込んでください。
- ※定員に満たない場合は当日参加可
- ▽申込み・問合せ スポーツ推進課スポーツ推進係いきいきセンター(☎558-3344)